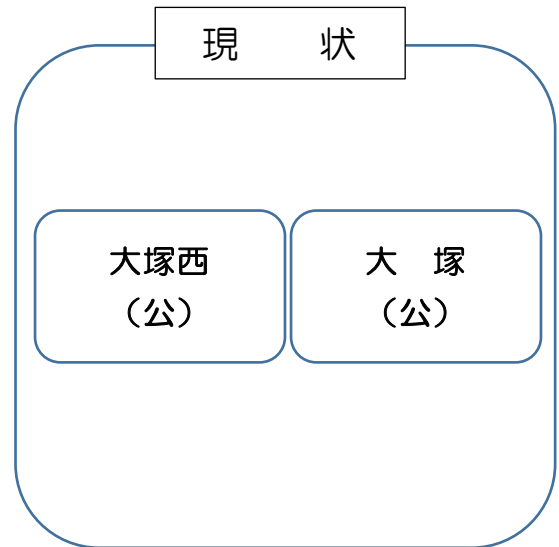
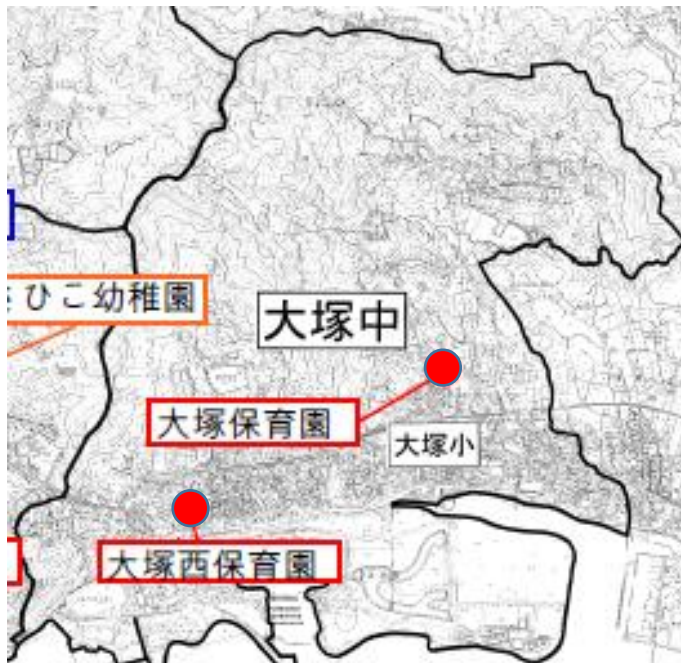


(2)ー1 大塚中学校区



■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|--------|------|-----------|----|----|----|----|----|-----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 大塚保育園 | S45.12 | 木造1F | / | / | 11 | 20 | 18 | 25 | 74 | 7:30-18:00 |
| 大塚西保育園 | S48.3 | 木造1F | / | / | / | 4 | 6 | 5 | 15 | 8:30-16:30 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 0 | 0 | 11 | 24 | 24 | 30 | 89 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 7 | 22 | 22 | 24 | 22 | 21 | 118 | |

■現状と課題■

【地区共通事項】

- ・老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。
- ・大塚地区は低年齢児の受け入れが不足しています。低年齢児受け入れのためには、自園調理室の設置が必要となりますが、両園とも構造的に大規模な改修が必要となり、現施設では対応が困難な状況です。
- ・敷地全てが借地のため、毎年賃借料の支払いが必要です。
- ・在籍園児はすべて大塚中学校区内から通園しています。
- ・他地区へ通園している子ども・・・28人(23.9%)
(三谷東10人、三谷西5人、(民間)みどり10人、その他3人(すべて低年齢児保育実施園))
- ・他地区から通園している子ども・・・0人
- ・低年齢保育を受けるため、三谷地区の保育園へ通う子どもの割合が多くなっています。一方で他の地区から通ってくる子どもはいません。市の東端にあり他地区からの通園に不便な点と、保育サービスが充実していないことが原因と考えられます。

【大塚保育園】

・0-1歳児保育を実施しておらず、0-1歳児は主に三谷東保育園、三谷西保育園、(民間)みどり保育園に通う傾向にあります。

【大塚西保育園】

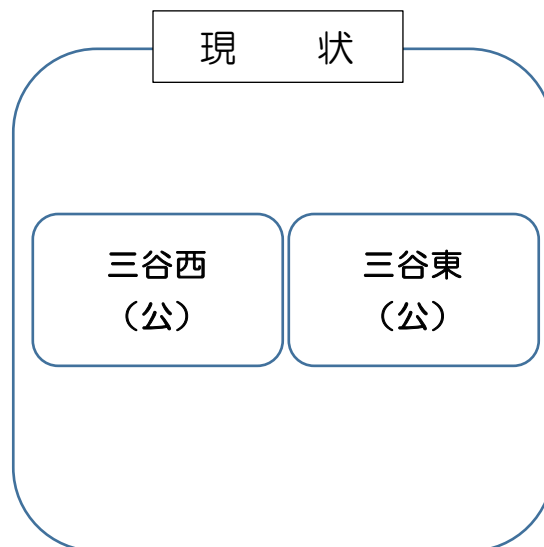
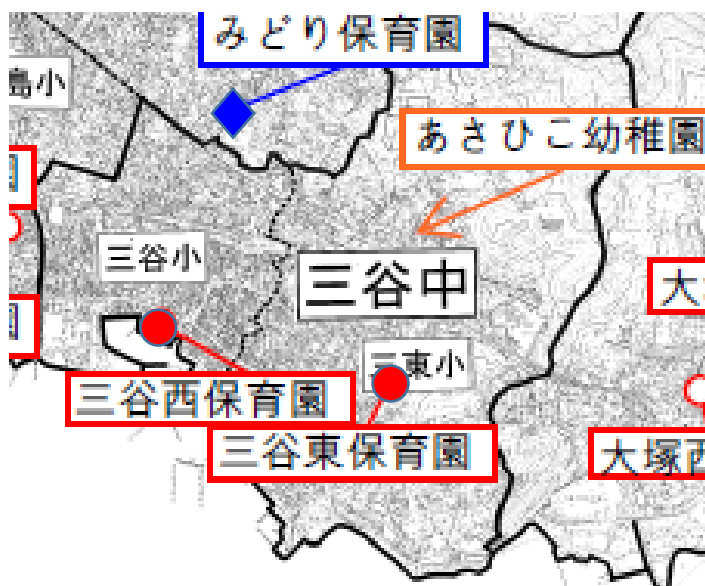
・0-2歳児保育を実施しておらず、0-2歳児は主に三谷東保育園、三谷西保育園、(民間)みどり保育園に通う傾向にあります。

- ・園児数が減少傾向にあります。
- ・延長保育は実施していません。
- ・駐車場が不足しています。

■今後のあり方■

| | | | |
|---|---|----|---|
| | <table border="1"><tr><td data-bbox="671 752 775 786">概要</td></tr><tr><td data-bbox="671 797 1490 1301"><ul style="list-style-type: none">・建て替えのタイミングで2園を統合します。・2040年時点のニーズ予想などから、1園で対応が可能と考えられます。・建て替え場所は、現在地、小学校などの公共施設敷地内、区域内の土地を取得するなどが考えられます。・保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されること、効率的なクラス編成を行うことができ、大塚中学校区内で不足している低年齢児保育の充実にもつなげることができます。・毎年の土地賃借料の負担が軽減されます。</td></tr></table> | 概要 | <ul style="list-style-type: none">・建て替えのタイミングで2園を統合します。・2040年時点のニーズ予想などから、1園で対応が可能と考えられます。・建て替え場所は、現在地、小学校などの公共施設敷地内、区域内の土地を取得するなどが考えられます。・保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されること、効率的なクラス編成を行うことができ、大塚中学校区内で不足している低年齢児保育の充実にもつなげることができます。・毎年の土地賃借料の負担が軽減されます。 |
| 概要 | | | |
| <ul style="list-style-type: none">・建て替えのタイミングで2園を統合します。・2040年時点のニーズ予想などから、1園で対応が可能と考えられます。・建て替え場所は、現在地、小学校などの公共施設敷地内、区域内の土地を取得するなどが考えられます。・保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されること、効率的なクラス編成を行うことができ、大塚中学校区内で不足している低年齢児保育の充実にもつなげることができます。・毎年の土地賃借料の負担が軽減されます。 | | | |

(2)ー2 三谷中学校区



■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|--------|------|-----------|----|----|----|----|----|-----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 三谷東保育園 | S49.3 | 木造1F | 5 | 17 | 17 | 23 | 25 | 29 | 116 | 7:30-19:00 |
| 三谷西保育園 | S46.12 | 木造1F | 3 | 16 | 11 | 19 | 14 | 19 | 82 | 7:30-19:00 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 8 | 33 | 28 | 42 | 39 | 48 | 198 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 12 | 39 | 38 | 42 | 43 | 37 | 211 | |

■現状と課題■

【地区共通事項】

- ・老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。
- ・大塚保育園0-1歳児、大塚西保育園で0-2歳児保育を行っていないため、大塚地区からの利用者が一定数います。
- ・みどり保育園(蒲郡中学校区内)は三谷地区の方の選択肢の一つとなっています。
- ・他地区へ通園している子ども・・・69人(29.6%)
((民間)みどり43人、府相6人、(民間)木船幼稚園7人、西部3人、その他10人)
- ・他地区から通園している子ども・・・34人(17.2%)
(大塚地区15人、蒲郡地区11人、中部地区3人、塩津地区3人、西浦地区2人)

【三谷東保育園】

- ・公立保育園の中で最も広い敷地があり、園庭も広さに余裕があります。
- ・駐車場がやや不足しています。

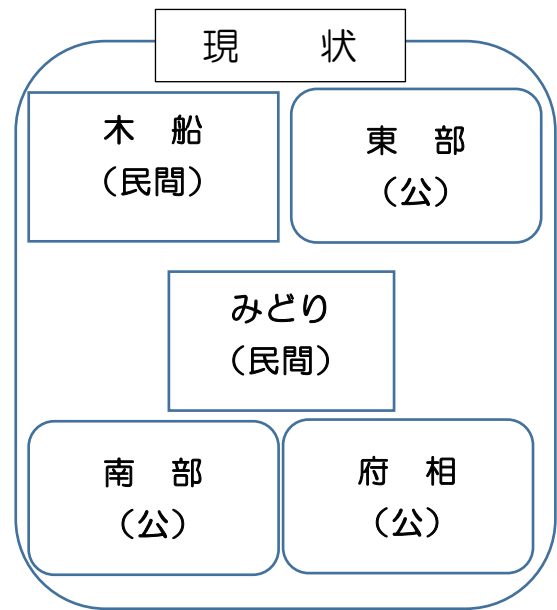
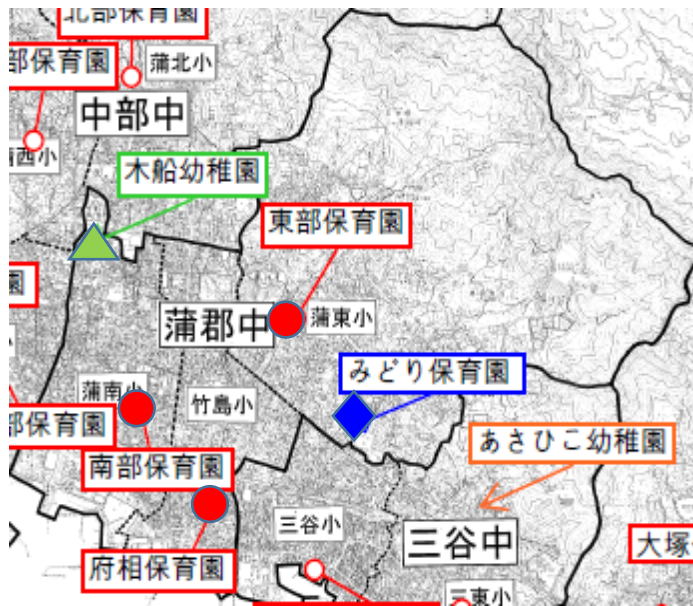
【三谷西保育園】

- ・海岸に近く、津波浸水予想地域及び高潮浸水想定区域に含まれています。
- ・災害リスクがあるため移転が必要となりますが、三谷中学校区の西側は市街地エリアのため移転先として新たな用地確保は非常に困難と考えられます。

■今後のあり方■

| | |
|--|---|
| | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">・建て替えのタイミングで 2 園を統合します。その際、現在三谷西保育園は災害リスクがあるエリアに所在するので、災害リスクがないエリアに統合の上、建設します。・保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されること、効率的なクラス編成を行うことができ、保育サービスの充実にもつなげることができます。・(民間)みどり保育園の選択肢もあるため、統合しても規模的に受け入れることは可能であると考えられます。・三谷東保育園は公立保育園の中で最も広い敷地があり、現状より大きな規模の園が建設可能です。 |
|--|---|

(2)－3 蒲郡中学校区



■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|-------|------|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 東部保育園 | S45.3 | 木造1F | / | / | 6 | 15 | 12 | 13 | 46 | 7:30-18:00 |
| (民)みどり保育園 | — | — | 6 | 21 | 25 | 30 | 28 | 30 | 140 | 7:30-19:00 |
| 府相保育園 | S54.3 | 鉄筋2F | 5 | 13 | 18 | 33 | 22 | 29 | 120 | 7:30-19:00 |
| 南部保育園 | H24.3 | 木造1F | 3 | 18 | 22 | 39 | 40 | 31 | 153 | 7:30-19:00 |
| (民)木船幼稚園※ | — | — | / | / | 15 | 17 | 17 | 17 | 66 | 7:30-18:30 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 14 | 52 | 86 | 134 | 119 | 120 | 525 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 26 | 76 | 78 | 87 | 88 | 87 | 442 | |

※ 木船幼稚園は保育実施人数のみ計上

■現状と課題■

【地区共通事項】

- ・蒲郡中学校区には公立保育園、民間保育園、民間認定こども園があり選択肢が幅広くなっています。
- ・入所児童が市内で一番多い地区であり、どの保育園もほぼ定員に達している状態です。
- ・他地区へ通園している子ども…42人(9.8%)
(三谷東3人、三谷西8人、北部10人、中部8人、(民間)鹿島こども園9人、その他4人)
- ・他地区から通園している子ども…138人(26.3%)
(大塚地区13人、三谷地区58人、中部地区55人、塩津地区7人、その他5人)
- ・他地区へ通園する子どもの割合が少ない傾向です。低年齢児保育、延長保育が充実しているため、他地区の園に通う必要がないものと思われます。
- ・その一方で、他地区から通園する子どもが多い傾向です。保育サービスの充実した地区であることや民間園を選択する方が多いためだと思われます。

【東部保育園】

- ・老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。
- ・0-1歳児保育を実施しておらず、0-1歳児から利用したい園児は主に(民間)みどり保育園に通う傾向にあります。
- ・小学校に隣接しており、地区の子育ての拠点エリアを形成しています。
- ・ほとんどの園児が東部小学校区から通園しており、小規模園ですが地域性の強い保育園といえます。

【(民間)みどり保育園】

- ・毎年定員を超える申し込みがあります。
- ・東部小学校区、竹島小学校区、三谷小学校区に隣接する場所にあります。
- ・公立保育園より土曜日保育の実施時間が長くなっています。
- ・園の方針や理念、園の雰囲気がいよという理由で入園する傾向もあります。

【府相保育園】

- ・高潮浸水想定区域に含まれており、災害リスクを避けるため、移転が必要となります。
- ・市街地エリアのため移転先として新たな用地確保は非常に困難なため、小学校などの公共施設敷地内への移転について検討が必要です。

【南部保育園】

- ・公立保育園として近年で唯一建て替えが完了した保育園です(H24年)。
- ・がまごおり児童館が併設されています。
- ・市中心部に所在しており、職場、駅に近い等の理由から南部小学校区以外の地区からの入園希望者も毎年多数います。

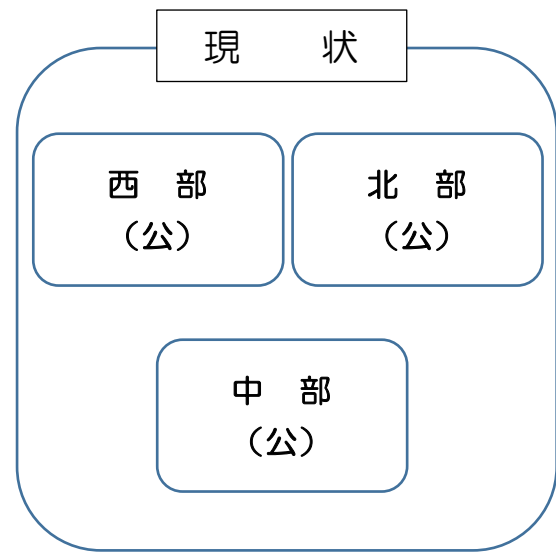
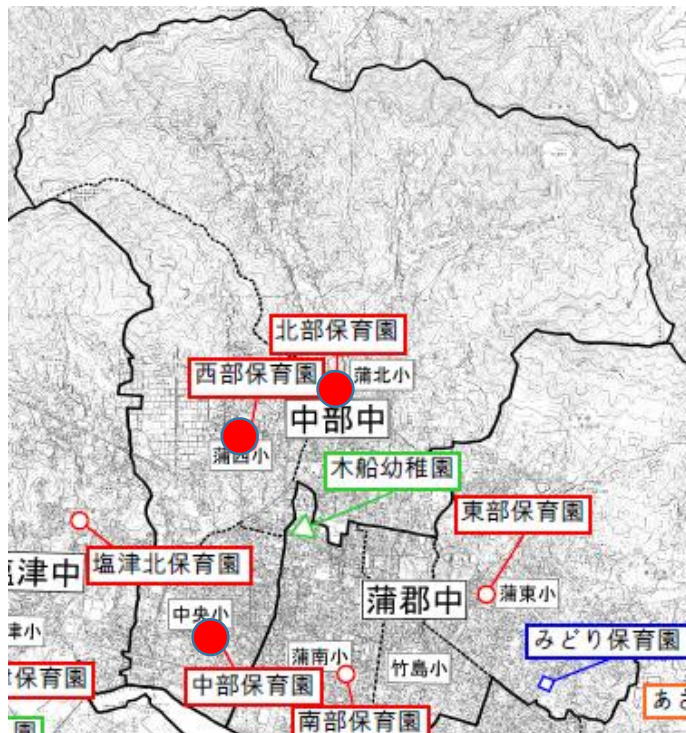
【(民間)木船幼稚園】

- ・西部小学校区、北部小学校区、南部小学校区、中央小学校区に隣接する場所にあります。
- ・園の方針や理念、園の雰囲気に共感し、他の地区から通う園児もいます。
- ・木船幼稚園は幼稚園型認定こども園であり、幼稚園としての利用だけでなく、保育が必要な子どもの受け入れも行っています。

■今後のあり方■

| | |
|---|--|
| <p>案</p> <p>木船 (民間)</p> <p>南部 (公)</p> <p>みどり (民間)</p> <p>公立1</p> <p>公立2</p> | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">・今後も現状の施設数を維持する案です。・公立保育園の1園あたりの平均入所人数がもっとも多いエリアであるため、統合して1園あたりの規模を拡大するのではなく、現在の園の数を維持します。・南部保育園は建て替えが完了した園であるため、適切な管理をして維持します。 |
|---|--|

(2)－4 中部中学校区



■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|-------|------|-----------|----|----|----|----|----|-----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 北部保育園 | S55.3 | 鉄筋2F | 3 | 15 | 17 | 23 | 24 | 29 | 111 | 7:30-19:00 |
| 西部保育園 | S53.3 | 木造1F | 7 | 6 | 4 | 14 | 6 | 13 | 50 | 7:30-19:00 |
| 中部保育園 | S51.9 | 鉄筋2F | 3 | 23 | 22 | 28 | 39 | 26 | 141 | 7:30-19:00 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 13 | 44 | 43 | 65 | 69 | 68 | 302 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 19 | 51 | 49 | 56 | 66 | 65 | 306 | |

■現状と課題■

【地区共通事項】

- ・他地区へ通園している子ども・・・64人(20.6%)
((民間)みどり6人、府相8人、南部8人、(民間)木船幼稚園33人、(民間)鹿島こども園5人、その他4人)
- ・他地区から通園している子ども・・・56人(18.5%)
(三谷地区4人、蒲郡地区21人、塩津地区30人、形原地区1人)

【北部保育園】

- ・鉄筋造になりますが、老朽化が進んでおり、適切な維持管理が必要です。
- ・0－2歳児保育ニーズの増加に対応するため、受け入れ人数の拡大を検討しています。

【西部保育園】

- ・老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。
- ・公立保育園の中で敷地が最も狭い保育園です。

- ・敷地の約半分が借地となります。
- ・0-2歳児については、半数は西部小学校区以外からの入園となります。

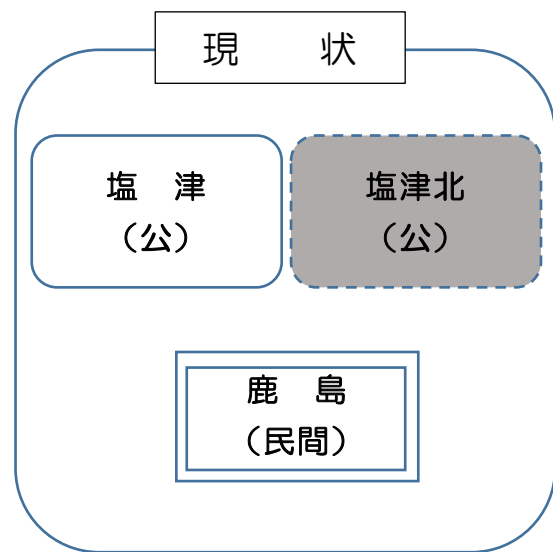
【中部保育園】

- ・鉄筋造になりますが、老朽化が進んでおり、適切な維持管理が必要です。
- ・公立保育園の中で、最も多い定員数の保育園です。
- ・市中心部に所在しており、職場に近い等の理由から中央小学校区以外の地区からの入園希望者も毎年多数います。
- ・施設規模の面から現在以上の0-2歳児の受け入れは困難となっており、入所時期によっては他園での受け入れで対応しています。

■今後のあり方■

| | |
|--|--|
| | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園を3園から2園に集約を行います。 ・保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されること、効率的なクラス編成を行うことができ、保育サービスの充実にもつなげることができます。 ・西部保育園は敷地の約半分が借地であるため、別の保育園と統合した場合は、毎年の賃借料が軽減されます。 |
|--|--|

(2)ー5 塩津中学校区



■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|-------|------|-----------|----|----|----|----|----|-----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 塩津保育園※1 | S45.3 | 木造1F | / | / | 4 | 17 | 8 | 13 | 42 | 7:30-18:00 |
| 塩津北保育園※2 | S50.3 | 木造1F | / | / | / | 0 | 7 | 4 | 11 | 8:30-16:30 |
| (民)鹿島こども園 | - | - | 9 | 32 | 20 | 44 | 32 | 33 | 170 | 7:30-19:00 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 9 | 32 | 24 | 61 | 47 | 50 | 223 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 15 | 42 | 39 | 34 | 46 | 37 | 213 | |

※1 塩津保育園は2021年4月から0、1歳児の受け入れを開始予定

※2 塩津北保育園は2021年3月末で廃園

■現状と課題■

【地区共通事項】

- ・塩津地区内には民間の鹿島こども園があります。
- ・他地区へ通園している子ども・・・46人(23.8%)
(中部 20人、西部 9人、南部 4人、(民間)木船幼稚園 3人、形原 3人、その他 7人)
- ・他地区から通園している子ども・・・76人(34.1%)→すべて(民間)鹿島こども園に通園
(形原地区 59人、蒲郡地区 9人、中部地区 5人、その他 3人)

【塩津保育園】

- ・老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。
- ・敷地のほとんどが借地です。
- ・令和3年度から0ー1歳児の受け入れを行い、19:00まで利用可能時間を延長します。
- ・園周辺の道路が狭く、交通アクセスはよくありません。

- ・周囲の傾斜地は土砂崩れ対策工事済みであるものの土砂災害警戒区域に含まれます。
- ・建て替えの際には災害リスクのない場所へ移転する必要があります。

【塩津北保育園】

- ・園児数減少のため令和3年3月末で廃園となります。

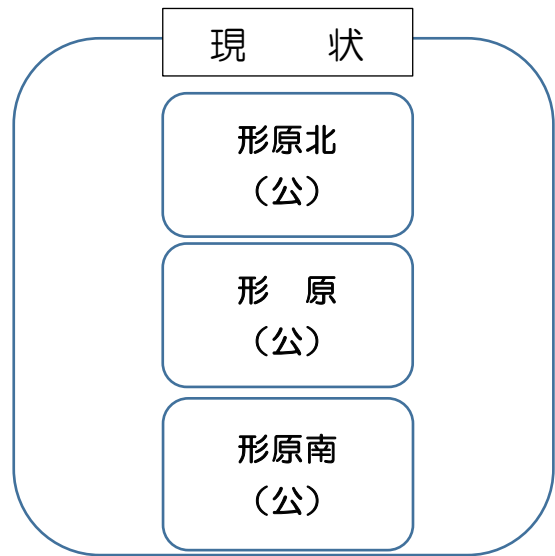
【(民間)鹿島こども園】

- ・4割以上は他地区(形原地区、蒲郡地区、中部地区など)から通う園児です。
- ・園の方針や理念、園の雰囲気がいよという理由で他の地区から通う園児もいます。
- ・幼保連携型認定こども園です。

■今後のあり方■

| | |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">案</p> <p style="text-align: center;">塩 津 (公)</p> <p style="text-align: center;">鹿 島 (民間)</p> | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩津北保育園が令和3年3月で廃園となり、公立保育園は塩津保育園のみとなります。 ・塩津保育園は適切な規模で災害リスクのない場所へ移転することとします。 |
|---|--|

(2)－6 形原中学校区



■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|-------|------|-----------|----|----|----|----|----|-----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 形原北保育園 | S43.3 | 木造1F | / | / | / | 12 | 26 | 38 | 76 | 7:30-18:00 |
| 形原保育園 | S46.3 | 木造1F | 6 | 8 | 12 | 19 | 25 | 19 | 89 | 7:30-18:00 |
| 形原南保育園 | S56.3 | 鉄筋2F | 5 | 4 | 10 | 19 | 18 | 18 | 74 | 7:30-19:00 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 11 | 12 | 22 | 50 | 69 | 75 | 239 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 19 | 48 | 46 | 53 | 71 | 73 | 310 | |

【地区共通事項】

- ・形原中学校区には形原北小学校、形原小学校の2校があります。形原北小学校区には形原北保育園があり、形原小学校区には形原保育園と形原南保育園の2園があります。
- ・他地区へ通園している子ども・・・68人(23.4%)
((民間)鹿島こども園 59人、西浦 5人、その他 4人)
- ・他地区から通園している子ども・・・17人(7.1%)
(三谷地区 4人、塩津地区 6人、西浦地区 5人、その他 2人)
- ・(民間)鹿島こども園は形原地区の方の選択肢の一つとなっています。

【形原北保育園】

- ・公立保育園として最も古く、老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。
- ・0-2歳児保育は実施していないため、0-2歳から利用したい園児は主に形原保育園や(民間)鹿島

こども園へ通う傾向にあります。

・小学校に隣接しており、地区の子育ての拠点エリアを形成しています。

【形原保育園】

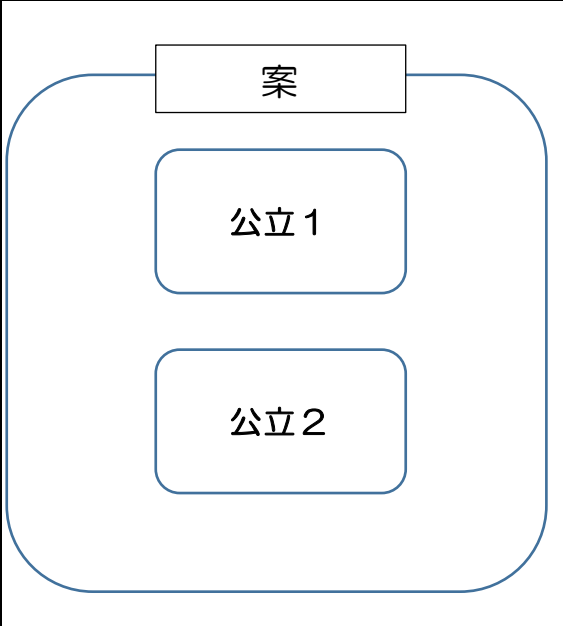
・老朽化が進んでおり、建て替えが必要となります。

【形原南保育園】

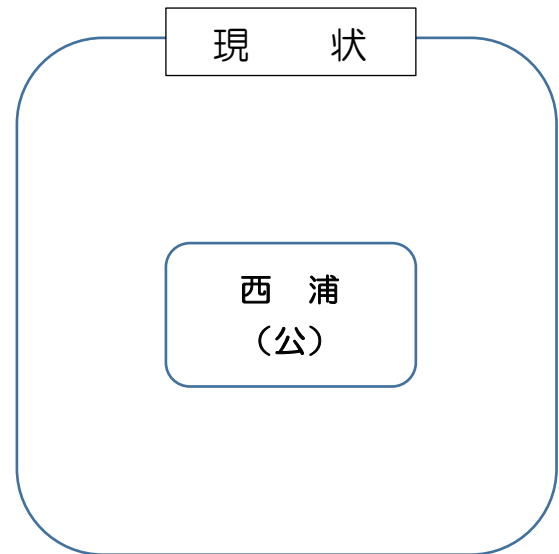
・鉄筋造になりますが、老朽化が進んでおり、適切な維持管理が必要です。

・園舎や駐車場が高台にあり、坂の入り口での切り返しなど、自動車での送り迎えがやや不便です。

■今後のあり方■

| | |
|---|---|
|  | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">・公立保育園を3園から2園に集約を行います。・形原小学校区内に形原保育園と形原南保育園と2園あるため、いずれかの園を集約対象とすることが考えられます。・保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されること、効率的なクラス編成を行うことができ、保育サービスの充実にもつなげることができます。・(民間)鹿島こども園が選択肢にあるため、統合しても子どもを受け入れることは可能であると考えられます。 |
|---|---|

(2)ー7 西浦中学校区



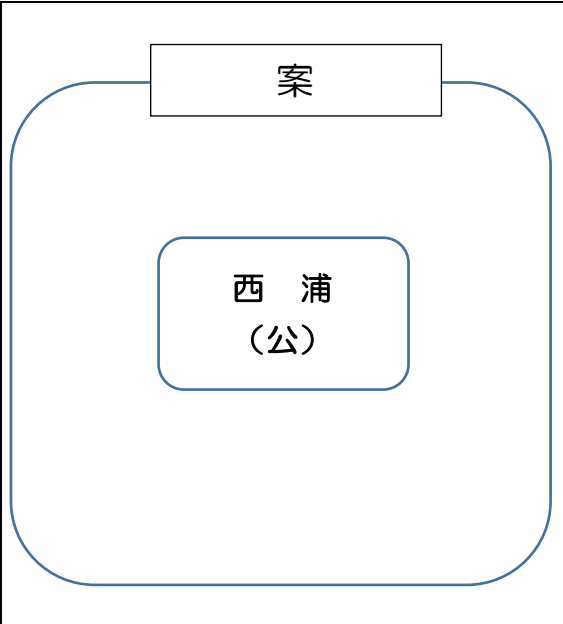
■現状と将来ニーズ■

| 施設名 | 建築年月 | 構造 | 受け入れ歳児(人) | | | | | | | 利用可能時間 (延長保育含む) |
|-----------------|-------|------|-----------|----|----|----|----|----|----|--------------------|
| | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | |
| 西浦保育園 | S58.2 | 鉄筋2F | 5 | 10 | 9 | 26 | 18 | 26 | 94 | 7:30-18:00 |
| 2020年3月時点 地区計 | | | 5 | 10 | 9 | 26 | 18 | 26 | 94 | |
| 2040年時点地区内ニーズ予想 | | | 5 | 13 | 14 | 12 | 23 | 15 | 82 | |

【西浦保育園】

- ・公立保育園としては2番目に新しい園舎ですが、建築から40年近く経過しているため、今後も利用できるよう適切な維持を行う必要があります。
- ・園児はほぼ全て西浦地区から通園しています。
- ・敷地は借地ではあるものの公立保育園として3番目に広い敷地です。
- ・他地区へ通園している子ども・・・11人(11.2%)
(三谷西・(民間)みどり・(民間)鹿島こども園・形原・形原南各2人、形原北1人)
- ・他地区から通園している子ども・・・7人(7.4%)
(三谷地区2人、形原地区4人)

■今後のあり方■

| | |
|---|---|
|  <p>案</p> <p>西浦 (公)</p> | <p>概要</p> <p>・地区内に1園のみの西浦地区では、現状の西浦保育園を適切に維持・管理していくこととします。</p> |
|---|---|

(3) 公立保育園の民営化について

施設の再配置にあたっては、公立保育園の民営化などの運営形態の在り方も踏まえながら検討をしていく必要があります。

民営化は、特色のある保育の実施、園舎建築の際の補助金の活用による財政負担の減少、公立保育園保育士の集約等様々なメリットがあります。

民営化を行う場合、保護者の選択の機会を確保するために、市全体として公立保育園と民間保育園がバランスよく所在することが望ましいと考えます。

よって、今後は市全体での公立保育園と民間保育園のバランスや地区の要望も踏まえたうえで、民営化の可能性の検討を行っていくこととします。

民営化の考え方は以下のように整理することとします。

■公立を中学校区に1つ以上残す■

公立保育園として地域の保育水準の基準となり、他の行政機関との迅速な連携や災害時の地域の避難所の確保等、地域住民の福祉向上についての義務と責任を担うという観点から、原則として中学校区に1つは公立保育園を残します。

■市全体でバランスを考えて園の配置をする■

民間保育園の配置の偏りや、公立保育園と民間保育園の通園距離等のバランスを市全体で考え、園児及び保護者が公立と民間の選択の機会が確保できるよう、配置の検討をします。

■安定した経営ができる規模の園を対象とする■

民間事業者が参入するにあたっては、安定した経営ができる一定の利用者数が望める園を対象に、民営化の検討を行うこととします。

第5章 おわりに

保育ニーズは今後も増加が見込まれおり、公立保育園については、限られた資源の中での対応が求められます。施設の統廃合や民営化を効果的に行うことで、保育士その他資源の集約を図り、受け皿の拡大を進めていく必要があります。

公立保育園に求められる役割は、公立保育園がそれぞれの地域で子育て支援の中心となり、民間保育園との連携、協力体制を構築しながら、地域全体の保育の質の向上を図っていくことであり、あわせて災害時の避難所運営などの公的な役割を担っていくことが必要です。